

# 福原麟太郎の随筆世界



2018年9月14日(金) ▶ 11月25日(日)

【主催】(公財)ふくやま芸術文化振興財団 ふくやま文学館  
福山市

【協力】学校法人 共立女子学園

【後援】エフエムふくやま、尾道エフエム放送  
ふくやま文学館友の会

【観覧料】一般500円(400円) 高校生までは無料  
※( )内は20名以上の団体料金

【開館時間】9時30分～17時

【休館日】月曜日

※ただし、9月17日(月)、9月24日(月)、10月8日(月)は開館し、  
9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)は休館します。

## 【関連行事】

★講演会「福原先生の随筆とシェイクスピア」

2018年10月28日(日)13時30分～

講師：岡本靖正(東京学芸大学名誉教授)

※定員80名、聴講無料、電話でお申し込みください。

★ギャラリートーク 展示資料について解説します。

① 2018年 9月21日(金)11時40分～

② 2018年10月13日(土)13時～

※当日の観覧券が必要です。申し込み不要



FUKUYAMA MUSEUM OF LITERATURE

ふくやま文学館

〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目9番9号

TEL.(084)932-7010 FAX.(084)932-7020

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/bungakukan/>

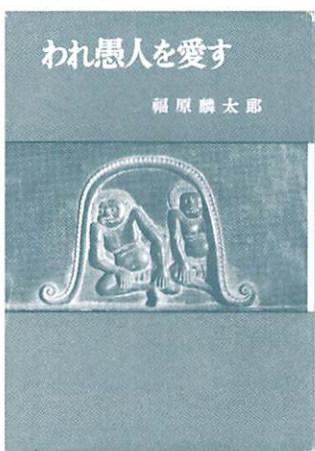
# 福原麟太郎の随筆世界

福原麟太郎の教育者・研究者としての優れた業績は「トマス・グレイ研究抄」「チャールズ・ラム伝」などによって知られていますが、福原にはこれらのほか、実に多くの一般随筆があります。こうした事実は、学術的対象である学問と同じように、あるいはそれ以上に人やその生活そのものへの関心が深かったことを示しています。

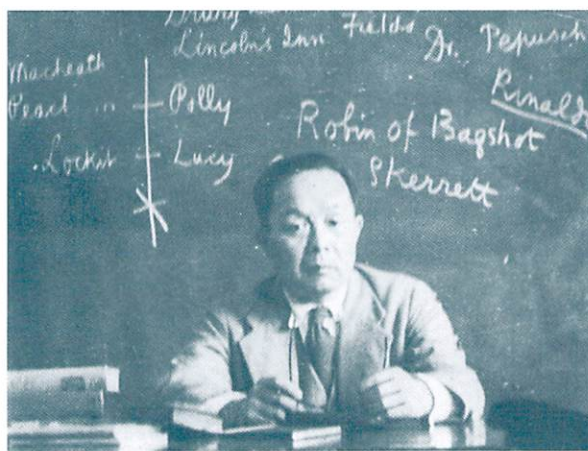
今回の展示では、福原の生涯をたどる形での随筆、彼をとりまく人々、興味の対象であった観劇・芸能などに関する随筆を紹介するとともに、多くの人々に愛された福原の人गरを知っていただくために遺愛の品・原稿・写真などを展示します。



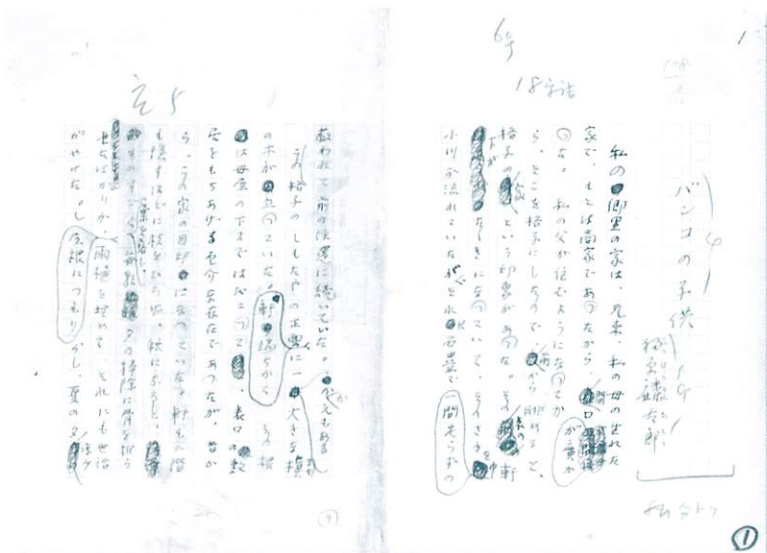
『春興倫教子』  
研究社 1935年9月  
題字は、父甚之助による



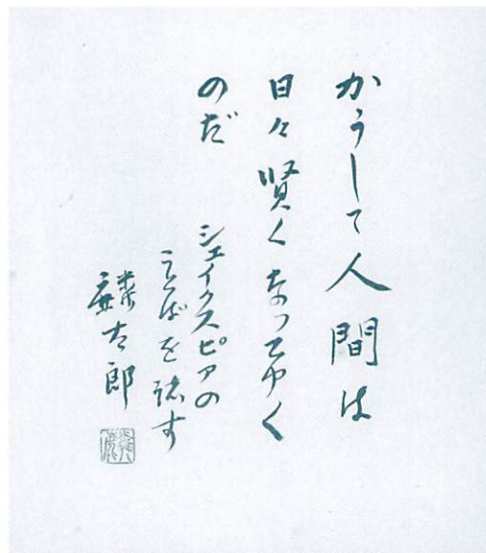
『われ愚人を愛す』  
文芸春秋新社 1952年12月



東京文理科大学にて 講義中  
1947(昭和22)年



自筆原稿「パンコの子供」



福原麟太郎書(色紙)  
「かうして人間は日々賢くなってゆくのだ  
シェイクスピアのことはを誦す」



FUKUYAMA MUSEUM OF LITERATURE  
ふくやま文学館

〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目9番9号  
TEL.(084)932-7010 FAX.(084)932-7020  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/bungakukan/>

